

## 第 22 回 100 年史誌部会 議事録

日時: 2008 年 1 月 23 日(水) 16 時 10 分～17 時 10 分

場所: 管理棟 2 階 第一応接室

出席者: 横山部会長、栗野、高畑、松田、大町、金子、小山、奥山、小池、片山、山崎各委員、小室編集局員、

欠席者: 神戸、斎藤編集補助員、赤平各委員

### 【配布資料】

- [資料 22-1] 高分子系部局史目次(案)
- [資料 22-2] 部局史編纂・編纂方針 物質化学工学科
- [資料 22-3] 機械システム工学科 部局史編纂方針(案)
- [資料 22-4] 「共通講座」百年史編集方針
- [資料 22-5] 社団法人米沢工業会 百年史編集方針
- [資料 22-6] 奥羽線と米坂線, そして SL の思い出 (松田先生)
- [資料 22-7] II-2-③ 資料調査「昭和 2～5 年日誌抄録」

### I) 報告事項

1. 委員交替について
  - ・ 平田委員(旧)から奥山(澄)委員(新)に交替する旨報告があり、奥山(澄)委員から挨拶があった。
2. 今月の話題担当
  - ・ 今月の話題について、次回(2008 年 2 月号)は小山委員になるとの報告があった。
3. その他
  - ・ 音声を書き起こすソフトを入手したので、会議や議事録などに利用して頂ける旨、紹介があった。

### II) 協議事項

1. 100 周年記念誌の委託業者の選定に関して松田 J 班長から説明があった
  - ・ 2007 年 12 月 18 日から 2008 年 1 月 10 日にかけて公示を行なった結果、5 社の応募があった。1 月 23 日の午後 1 時よりコンペを行なった。横山部会長、松田 J 班長、小池委員、片山委員、山崎委員、小室編集局員が審査員となり、プレゼンテーションや資料を採点し評価を行なった。
  - ・ その結果、委託業者として (株)ぎょうせい を選定した。地元の業者は地元色が強いのに対して、県外の業者は日本の中の地方大学、という位置づけで捉えていることが、選択の重要なポイントになった、と横山部会長から補足説明があった。
2. 100 年史
  - (1) 部局史編纂
    - ① 機能高分子工学科
      - ・ 栗野委員が [資料 22-1] に基づき説明を行なった。基本的に退職された先生に執筆をお願いしたいこと、繊維会誌を資料として参考にしたい旨説明があった。
      - ・ 小室委員から戦争後期に繊維系の学科が無くなったが、いつのまにか復活していることから終戦当時の先生がご存命であったらインタビューしたい旨発言があった。
    - ② 物質化学工学科
      - ・ 高畑委員が [資料 22-2] に基づき説明を行なった。基本的にイベントを中心に編纂したい、執筆は退職された先生、資料として親和会誌、50 年史、80 年史を使う旨報告があった。
    - ③ 機械システム工学科
      - ・ 大町委員が [資料 22-3] に基づき説明を行なった。部局史は学科に在籍した教員・職員を中心に編纂したい旨説明があり、部局史の内容、執筆候補者について説明があった。
    - ④ 電気電子情報系学科
      - ・ 小山委員が [資料 21-5] [資料 20-3] に基づき説明を行なった。特に [資料 21-5] に記載した 6 つの項目に沿って、新学科の創設、イベント中心で編纂する方針説明があった。

⑤ 共通講座

- ・ 小池委員が [資料 22-4] に基づき説明を行なった。時系列に沿って、出来る限り正確な講座の歴史を記録するという編集方針の説明を行ない [資料 18-6] を参照しながら説明があった。
- ・ 講座開設期などの古い時期に関する執筆候補者として菅野先生、中村先生、津川先生、熊井先生、羽毛田先生、高坂先生、尾山先生、広瀬先生の名前が上がった。

⑥ 米沢工業会

- ・ 山崎委員が [資料 22-5] に基づき説明を行なった。

(2) 今月の話題について紹介があった。

- ・ 2008年1月号の執筆担当者の松田委員から原稿 [資料 22-6] 「奥羽線と米坂線,そして SL の思い出について」の説明があった。
- ・ 栗野委員から「常軌」は「標準軌」へ、転車台の撤去は「明治後期」ではなく「昭和初期(昭和3年)」である旨指摘があった。
- ・ また、鈴木道隆氏(米沢市出身の兵庫県立大学大学院工学研究科准教授)のサイト「米坂線の蒸気機関車」(<http://www.eonet.ne.jp/~sl59634/>)に関する話題が出され、100年史誌サイトからの正式リンクの是非について討議された。

(3) 小室編集局員から資料調査について報告がなされた。主なポイントは以下の通り。

- ・ それまでは教育中心であったが、学術談話会が開催されるなど研究に偏ってきた。
- ・ 昭和2年、秦先生の来訪の記述がある。
- ・ 昭和2年8月4日、有為会主催による映画上映会。
- ・ 昭和2年10月2日、東北帝国大学宮城音五郎先生の講演会。
- ・ 昭和3年2月22日、屋根から雪が落ちて損害/被害。
- ・ 昭和3年10月22日、東北帝国大学八木秀次教授(八木アンテナの開発者)の講演。
- ・ 昭和4年、スキー倶楽部、スキー講演会、スキー練習
- ・ 昭和4年8月28日米織研究会発会、10月8日、11月8日米織研究会
- ・ このころより、思想統制的な記述が見られてくる。教練査閲など。
- ・ 昭和5年、米沢スキー連盟、全校スキー大会、スキー競技会

4. その他

- ・ ー今後の作業についてー
  - 1) 百年史一部局史については具体的に作業を進めて行く。
  - 2) 100周年記念誌については、業者が入って作業を進める。また原稿集めも進行する。

III) 次回の会議について

2008年3月5日(水) 16:00 ~17:00 事務棟2階 第一応接室 にて